

クエの季節がやってきた —クエ・フェア開催—



10月14日(土)、九絵の町づくり推進実行委員会(山田理司委員長)がクエのまちPRイベント「クエ・フェア」を開催。多くの観光客が県内外から訪れました。

今年も開場前からクエ料理を求めて、食券販売所には長い行列ができるなど大賑わい。大人気のクエ鍋や、クエ飯、クエ唐揚げやクエ寿司を受け取ると、早速テーブル席で名物を味わっていました。

またステージでは、和歌山県住みます芸人「わんだーらんど」のトークショーやFun×Fumのライブショー、北出病院の「消炎鎮痛楽団」の演奏会、琉風会による沖縄エイサーの演舞、和太鼓集団「和響」の和太鼓演奏会などが披露され、会場は熱気に包まれました。クエの解体ショーでは、初めて見る大きなクエや、専用のナタと木槌を使った独特な解体風景に来場者は目が釘付けに。

他にもクエの重さ当てクイズ、ビンゴゲームなどで、大いに盛り上がりました。

最後には、もち投げを行い、来場者はクエ尽くしの一日を堪能しました。



クヌッセン機関長ゆかりの地へ ーデンマークの高校生らが来訪ー

10月19日(木)、姉妹校である日高高校(池田尚弘校長)を訪問中のデンマーク・フレデリクスハウン高校の生徒10人と教員2人が、日高町や美浜町のクヌッセン機関長ゆかりの地を訪問しました。

田杭地区にあるクヌッセン機関長の救命艇保管庫を訪れた一行に、町職員がクヌッセン機関長の遺徳をDVDなどで紹介。生徒らは熱心に聞き入っていました。そのあと、慰霊碑に花束を献花した生徒らは、美浜町役場にて日高・美浜両町長らとの懇親会に出席。

松本町長らにお土産を手渡してもらった生徒たちは、日本の印象や、ホームステイ先の家族との思い出などを楽しく話してくれました。



優しさをありがとう ークヌッセン機関長殉難60周年記念事業ー

10月10日(火)、日の岬クヌッセンの丘にて、クヌッセン機関長殉難60周年記念事業が執り行われました。

この事業は、ヨハネス・クヌッセン機関長殉難60周年記念事業実行委員会により開催され、実行委員長の森下美浜町長、副実行委員長の松本町長を始め大勢の人が参加。クヌッセン機関長へ献花を行い、遺徳をしのびました。献花の後には、日高町・美浜町内の小学校と同時にバルーンリリースを実施。参列者と両町の小学生のバルーンが空に舞い、クヌッセン機関長の勇気と優しさをこれからも語り継ぐこと、そして、日本とデンマークの友情が末永く続くことを誓いました。

